

【チーム関係者の方へ】

令和3年度の競技運営について

愛媛県バスケットボール協会 U15

U15の競技環境が目まぐるしく変化しており、愛媛県協会もそれに合わせて大会の開催方法などを変更しています。チーム関係者の方や部活動顧問の先生方にそれらの事柄について理解していただくとともに、保護者や選手に事前に説明することで、より良い競技環境を作っていただければと思います。以下に注意点をまとめます。

1 登録について

(1) 指導者登録

指導者としての登録に制限はありません。一人が複数のチームを掛け持ちで登録することも可能です。ただし、大会の際には、同一トーナメントで複数のチームにまたがってベンチに入ることはできませんので、ご注意ください。

バスケットボール競技には、日本バスケットボール協会公認の「指導者ライセンス」と「審判ライセンス」があります。大会によっては、指導者ライセンスが必須であったり、帯同審判が必要であったりするため、できる限り取得に努めてください。

(2) 競技者登録

①練習への参加

選手は（中学校、Bユース、クラブ）のどこかに所属して活動することになります。JBAの規定上は、どのチームに所属していても、他のチームの練習に参加をすることは可能となっています。

②大会への参加

協会主催の大会（リーグ戦、JWC予選、選抜大会）は、所属するチームから参加をさせていただきます。中体連の大会は、中体連の規定に則ってください。

(3) 移籍

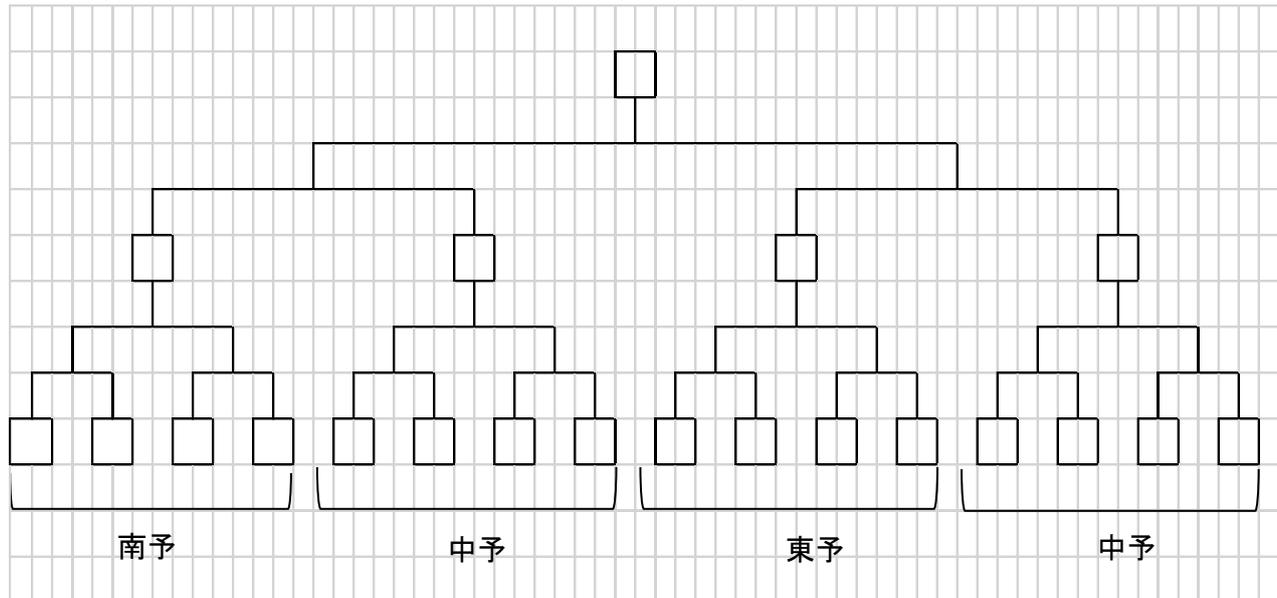
選手は、年度内に1度だけチームを移籍することができます。移籍の手続きについては、添付の資料をご覧ください。JWC予選の際に移籍が起こることが予想されます。全中大会の関係で、JWC予選の申し込みと移籍のタイミングが合わない場合は、協会までご連絡ください。

2 各大会について

(1) ジュニアウィンターカップ県予選（JWC県予選）

来年度はオープン参加で行います。組み合わせはフリー抽選としますが、会場への移動のことなどを考慮し、2回戦までは東、中、南予の同一地区が当たるようにします。JWC県予選は指導者ライセンスDが必須の大会となります。大会日程は別紙の予定表をごらんください。出場チーム数をおおよそ把握するために、4月下旬に参加希望のアンケートを実施します。最終の申込み締め切りは7月下旬を予定しています。

組み合わせイメージ



(2) 選抜大会

[男子]

これまでは、各地区4チームの合計12チームで県大会を行っていましたが、県新人大会の優勝・準優勝の地区は1チーム出場枠を増やし、合計14チームのトーナメントとします。これは選抜大会が黒潮交流大会の推薦大会になっているためです。黒潮大会は中体連加盟チームしか出場できないため、中体連加盟チームの上位2校に出場権を与えます。

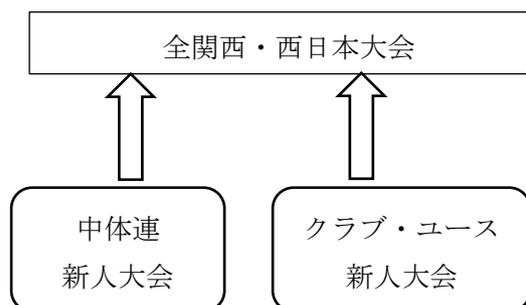
[女子]

クラブチームの数が多くないので、これまでと同様に各地区4チームの合計12チームでのトーナメントとします。

(3) 全関西・西日本大会の遠征

[男子]

これまでは、中体連主催の県新人大会結果により、出場の権利を与えていましたが、Bユースやクラブチームが出場できないため、中体連のチームで全関西・西日本大会1枠ずつ、Bユース・クラブで全関西1枠の割り当てにします。なお、勝ち上がりにより出場できる大会が同一であるため、部活動とクラブ・ユースなどを掛け持ちで参加している選手については、中体連新人大会と、クラブ・ユース新人大会に同一選手が出場することがないようにご配慮ください。



[女子]

女子については、クラブチームの数が多くないことや実績を考慮して、これまで通り中体連のチームに遠征枠を与えることとします。中体連新人大会と、クラブ・ユース新人大会の両方に出場してもかまいません。

(4) リーグ戦について

夏季リーグのみを実施します。期間は4月下旬から7月までとします。選抜大会の結果を元に、毎年リーグを組み直します。